

# 週間市場レポート (2020年1月27日~1月31日)

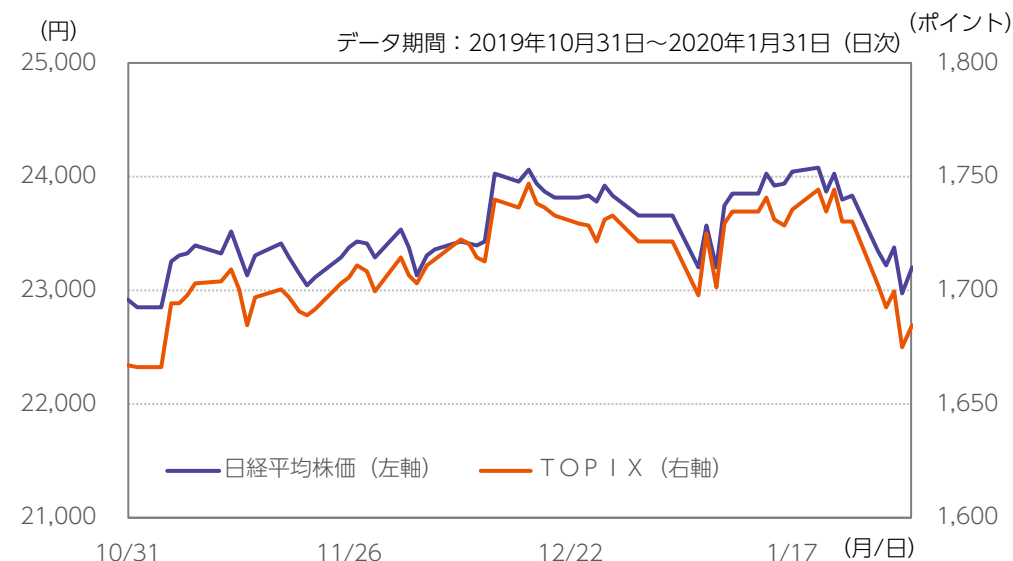
## 1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2020/1/24	先週末 2020/1/31	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		23,827.18	23,205.18	▲ 2.61 ↓
TOPIX (東証株価指数)		1,730.44	1,684.44	▲ 2.66 ↓
ダウ工業株30種平均 (ドル)		28,989.73	28,256.03	▲ 2.53 ↓
S & P500種指数		3,295.47	3,225.52	▲ 2.12 ↓
ユーロ・ストックス50指数		3,779.16	3,640.91	▲ 3.66 ↓
S & P/ASX300指数		7,046.90	6,972.70	▲ 1.05 ↓
上海総合指数		3,075.50	2,976.53	▲ 3.22 ↓
MSCI AC アジア (除く日本)※		851.50	811.42	▲ 4.71 ↓
東証REIT指数		2,194.11	2,215.67	0.98 ↑
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		801.87	788.26	▲ 1.70 ↓
ASX300 REIT 指数		1,666.00	1,655.50	▲ 0.63 ↓
グローバルREIT (除く日本)※		203.60	200.28	▲ 1.63 ↓
日本10年国債 (%)		▲ 0.02	▲ 0.07	▲ 0.05 ↓
米国10年国債 (%)		1.68	1.51	▲ 0.18 ↓
ドイツ10年国債 (%)		▲ 0.34	▲ 0.43	▲ 0.10 ↓
英国10年国債 (%)		0.56	0.52	▲ 0.04 ↓
ドル/円		109.28	108.35	▲ 0.85 ↓
ユーロ/円		120.49	120.17	▲ 0.27 ↓
英ポンド/円		142.86	143.11	0.18 ↑
豪ドル/円		74.58	72.51	▲ 2.78 ↓
フィラデルフィア半導体指数		1,924.03	1,789.93	▲ 6.97 ↓
WTI原油先物 (ドル)		54.19	51.56	▲ 4.85 ↓
CRB指数		175.75	170.31	▲ 3.10 ↓
アレリアンMLP指数		1,115.06	1,075.20	▲ 3.58 ↓

## 2) 日本の株式・債券市場

### ≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で下落となりました。週初は、中国で発生した新型コロナウイルスの感染拡大が世界景気に悪影響をもたらすとの見方が広がり、投資家のリスク回避姿勢の高まりから大きく売られました。米国株式が上昇したことなどによる投資家心理の改善などから上昇する場面もあったものの、週間では下落となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成 ※現地通貨ベース  
\*1 ▲はマイナスを表します。 \*2 上海総合指数は春節(旧正月)連休中のため1月17日と1月23日の価格を掲載。

≪ 債券 ≫

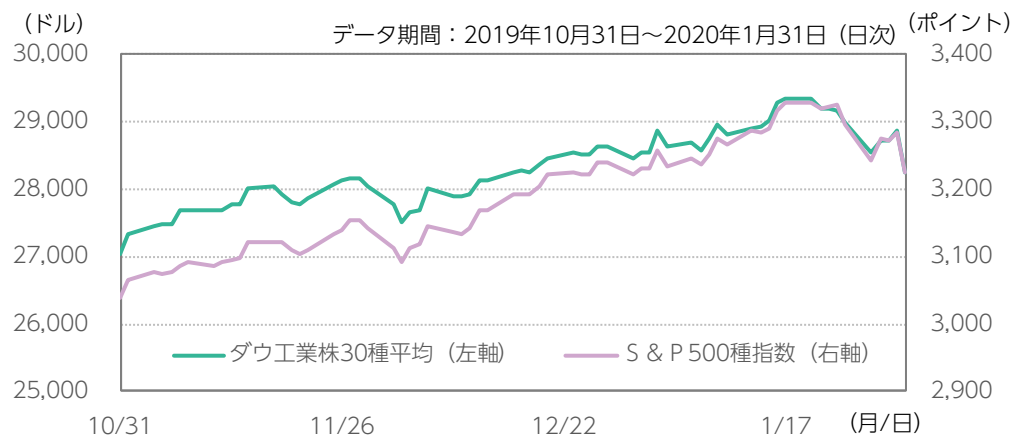
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で低下となりました。  
 新型コロナウイルスへの警戒感から日経平均株価が大幅安となったことや、外国為替市場で円高米ドル安が進行したこと受け、相対的に安全資産とされる債券は買われる展開となりました（利回りは低下）。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

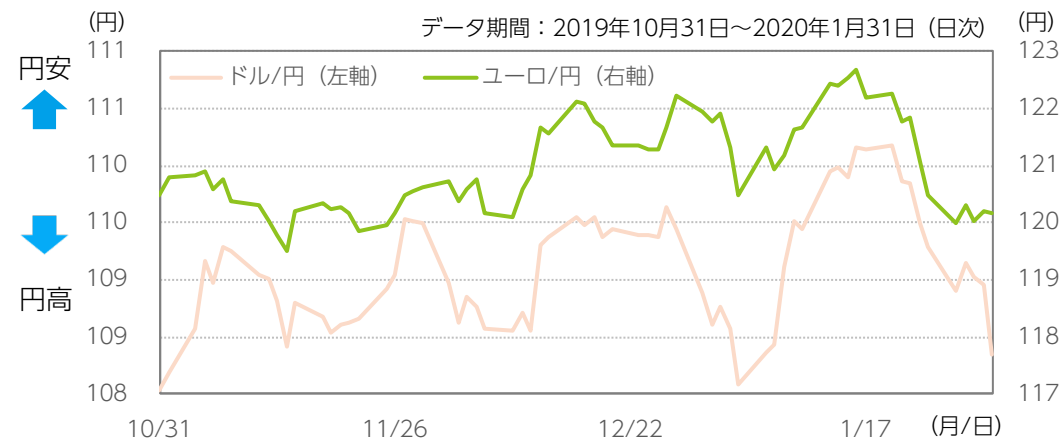
米国株式市場（NYダウ）は前週末比で下落となりました。  
 週初は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた中国の春節（旧正月）延長にともなう経済活動への影響懸念が強まり、大きく下落しました。その後、世界保健機関（WHO）が中国への渡航や貿易を制限する措置は不要との見解を示し上昇したものの、週末は軟調な米経済指標などを受け、前日比で大きく下落しました。



出所）ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円高米ドル安となりました。  
 新型コロナウイルスの感染拡大懸念から投資家のリスク回避姿勢が高まり、週初は円買い米ドル売りが優勢となりました。一時、市場予想を上回る米消費者信頼感指数の結果を受けた米長期金利の上昇により円売りが優勢となったものの、週を通して円高米ドル安が進みました。



5) 今週の見通しについて

30日（木）、WHOが中国で発生した新型コロナウイルスについて『国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態』を宣言する一方で、現段階では中国への渡航や貿易を制限する措置は必要ないとの見解を示したことで、週末の国内株式市場はやや落ち着きを取り戻しました。一方、米国株式市場は、公表されたシカゴ購買部協会景気指数が低調であったことや、製造業の決算も軟調であったことなどを受け、週末は大きく下落しました。今後も新型コロナウイルスの世界的な感染拡大懸念は継続するとみられ、今週の株式市場は日米両市場ともに弱含みの展開となりそうです。

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

NISSAY  
ASSET MANAGEMENT

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120 - 762 - 506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>